

東アジア戦略概観

East Asian Strategic Review

2013

防衛省防衛研究所

The National Institute for Defense Studies, Japan

はしがき

近年、東アジアの国際関係は大きく変わりつつあり、特に日本周辺の安全保障環境は格段に厳しさを増している。2012年は、ロシア、中国、日本など主要国で指導者が交代する中で、北朝鮮によるミサイル発射、中国による多方面かつ急速な軍事力近代化や、東シナ海や南シナ海での活発な海洋活動が行われるなど、東アジア情勢の緊迫度がこれまでになく高まった。米国は、アジアを重視した戦略を鮮明に打ち出しているが、こうした状況の中で、この地域における同盟国や友好国との協力関係の拡大を追求した。こうした時代の転換期においては、適時・適切に対応できる体制の確立、そして中長期的な安全保障戦略の策定が求められている。だがその前提として、冷静な情勢認識、安全保障問題に関する幅広い国民的議論、さらには諸外国との対話と相互理解が不可欠であろう。

本書は、東アジアの安全保障環境に関する客観的かつ包括的な認識を得るための一助とすべく、防衛研究所の研究者が東アジアの安全保障に関する重要な事象について分析・検討した成果を提供するものである。

本書の構成は、「要約」、「トピック章」、「各国・地域章」からなる。今回は、これまでの序章に代えて、新たに「要約」を設けることにより、各章の主要な論点を読者に理解しやすくなるように配慮した。トピック章では東アジアのみならずグローバルな安全保障上の課題を考えるうえで重要と思われるテーマを対象としている。各国・地域章では、東アジアの国・地域別に2012年1月から12月までの1年間を中心に生じた安全保障にかかわる重要な事象について分析する。さらに、章の中に解説コラムを設けて具体的で興味深い事象について分析・検討する。

今回はトピック章として、インドとオーストラリアの安全保障政策を採り上げる。第1章では、米印関係やルック・イースト政策の安全保障分野への展開、国連平和維持活動(PKO)に焦点をあて、インドの地域的、さらにグローバルな役割と影響力の増大について論じる。第2章では、オーストラリアの国防政策の動向を、米豪同盟、アジア太平洋地域への関与、日豪防衛協力などに着目して分析する。第3章では、防衛計画の大綱の見直しが進められようとする中、日本が直面する安全保障上の課題について、特に南西諸島方面の防衛態勢の強化と弾道ミサイルへの対応、日米の動的防衛協力に向けた取り組み、アジア太平洋地域における多層的な安全保障協力、自衛隊のグローバルな活動などに着目して検証する。第4章では、北朝鮮に関してはミサイル発射や核実験などの挑発行為を続ける同

国の内外政策、韓国に関しては2013年2月に誕生した新政権が抱える韓国の安全保障政策上の課題や、米国、日本、中国との関係、「積極的抑止能力」の確保を目指す国防政策などを概観する。第5章では中国の内政、対外関係、国防政策を採り上げる。第18回共産党大会を受けて始動した習近平を総書記とする新指導部の政策的方向性、尖閣諸島をめぐる緊張が激化した日中関係、統合運用を目指す人民解放軍、そして中台間の交流進展について分析する。第6章では、ミャンマー情勢、南シナ海情勢、そして米国のアジア太平洋へのリバランスに対する東南アジア諸国の対応について分析する。第7章では、第2次プーチン政権の対外政策と国防政策を、対中認識とアジア重視という観点から、北極に向けた中国の海洋進出の動きを受けて強化を図るロシア海軍、ロシアが求める日米との海洋安全保障協力などについて解説する。第8章では、オバマ第2期政権が直面する内政、外交および安全保障上の課題に関して、国防費の削減、アジア太平洋へのリバランス、南シナ海問題への取り組みなどについて分析する。

本書の刊行が、日本や地域の国々が直面する安全保障上の課題に関する議論を内外において深め、さらに相互理解を促進する契機となることができれば幸甚である。

本書の執筆担当者は、秋本茂樹、阿久津博康、新垣拓、石原雄介、伊豆山真理、菊地茂雄、坂口賀朗、佐竹知彦、庄司智孝、杉浦康之、兵頭慎治、室岡鉄夫、門間理良、和田靖である。また編集作業は、大西健、須江秀司、福島康仁、松浦吉秀、門間理良、山添博史、和田靖が担当した。

本書は防衛研究所の研究者が内外の公刊資料に依拠して独自の立場から分析・記述したものであり、政府あるいは防衛省の見解を示すものではない。また、本書に登場する人物の役職・肩書は、原則として記述する事象が生じた当時のものである。

最後に、本書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、ならびに本書の企画・編集・運営に真摯に取り組まれた関係各位に対し心から感謝申し上げます。

平成25年（2013年）3月

防衛研究所 地域研究部長
『東アジア戦略概観2013』編集長
片原栄一